

日本災害看護学会先遣隊 令和6年能登半島地震活動報告

2024年1月21日(日)

活動隊員：網木政江、福島芳子

1. 活動日時

令和6年1月21日(日) 7:20~24:00

2. 活動場所

珠洲市立大谷小中学校

3. 被害状況 (消防庁：1月21日 14時現在)

人的被害：石川県死者 232人 (うち珠洲市 99人)

住家被害：建物全壊 68棟、半壊 1059棟、一部損壊 11,367棟

床上浸水 6棟、床下浸水 19棟

4. 天候 雨のち曇り 最高気温 11°C 最低気温 6°C (避難所内 気温 21.1°C、59%)

5. 活動の実際

07:20 珠洲市健康増進センター (前泊先) 出発

07:25 珠洲市立健民体育館到着

大谷地区の孤立が解消され、支援物資運送車両には同乗不可と説明される。本日、自衛隊衛生部隊の巡回診療が大谷小中学校に向かうが、現在のフェーズでは、支援者の人的搬送は実施不可と説明を受けた。そのため、自家用車で衛生部隊を追随し現地まで案内してもらうよう調整した。

09:05 珠洲市立健民体育館出発

09:45 珠洲市立大谷小中学校到着

道路途中、陥没・段差多い。

10:00 前任者からの引継ぎ

- ・館内案内、組織織図、1日のスケジュール
- ・避難所アセスメントシートの入力
- ・感染対策：避難者の配置、感染隔離状況、清掃、トイレ使用方法
- ・1.5次、2次避難状況 等

11:30 自衛隊医師等と本日の診療後カンファレンス

1階4名、2階4名 (計8名)

12:15 隔離エリア 感染者内服薬希望対応

12:30 交代で昼休憩

13:20 巡回薬剤師チームと OTC 薬確認対応

約1週間前に保健室に搬入されていた OTC の管理と衛生物品について説明あり。

現場管理者は災害看護学会派遣者リーダーで登録 (説明を受けた者でよいとのこと)

「現場管理者向けマニュアル」の受け取り (OTC 不足時の申し込み QR コード)

14:15 体育館内の避難者健康確認、バイタル測定、相談対応

- ・認知症症状悪化の住民がいると面会に訪れた知人より情報提供あり

息子様は精神疾患あるが被災後残薬なく断薬中で受診予約している。2次避難所申込中

- ・高齢者からは精神的に落ち込んでしまうと訴えあり

15:30 換気・ストレッチ体操指導

16:00 感染者への食事の配膳、回収

17:00 【珠洲市保健医療福祉調整本部ミーティング (Zoom 参加)】

<情報共有>

- ・珠洲市立総合病院は 20 床で運用中、現在 17 床、今後病床数を増やしていく方向で調整予定。
- ・中谷クリニック：午前中のみ処方可

- ・自衛隊衛生部隊の大谷地区巡回は、今後、1回/3日から1回/1週間の間隔となる予定。
- ・病院支援者の看護師、看護補助者に COVID-19 感染あり、感染拡大が懸念される。支援者の生活環境も整備していきたい。
- ・報道関係者から避難所での COVID-19 感染症による死亡者発生に関する報道の話があり、避難者の心情を説明したが報道されることとなった。

<本チームより>

- ・蜂窩織炎で珠洲市立総合病院に入院した避難者が避難所へ戻るための調整を依頼
- ・咽頭痛のある方の希望にてトローチ処方依頼、薬は上記避難者を避難所まで移送する際、一緒に届けてもらうことになった。

17:45 避難者常備薬セット

- ・災害用緊急薬が一包化されてないため、服薬困難と避難所高齢者より相談あり、対応

19:00 【避難所スタッフミーティング（珠洲市立大谷小中学校）】

参加者：避難所リーダー代行、千葉県職員 4 名、日本災害看護学会 2 名、珠洲市消防署大谷分団 1 名

- ・避難所 59 名（昨日 67 名）うち、21 名（感染隔離・PET 同室・要支援者・車中泊）
- ・メディア対応
- ・浄化槽点検し問題なかったため給水車を要請（いつになるかは不明）
- ・感染対策を考慮した 1 階パーテーション設置については明日、検討
- ・昨日 20 日に二次避難所に移った避難者が発熱し COVID-19 陽性となった

20:00 避難所内巡回、トイレ移動見守り

- ・就寝時に咳嗽出現する高齢者 3 名おり、飲水促し、改善傾向。

21:00 消灯

夜間シフト体制について、千葉県職員と調整

看護師 A：21:00～1:00 B：4:00～7:00

千葉県職員 A：20:00～4:00 B：00:00～4:00 C：4:00～7:00

6. 考察

昨日 43 名が二次避難所となるホテルへ移動し、避難者数はさらに減少、体育館フロアーもゆとりをもって段ボールベッドが配置転換され、清掃も定期的に行われている。パーテーションの設置は土地柄もあり希望されず設置していなかったが、感染予防の観点から避難者に必要性を説明し設置を進めていく予定である。新たな感染症の発症はみられず、隔離解除も順調に進んでいるが、電気、水道は復旧しておらず衛生保持が困難な状況が続いているため、感染対策を継続していく必要がある。2 次避難所への移動に伴いボランティア数が減少、学校も始まっていることから、使用する部屋やエリアを集約し、効率化を図ることも必要となってくる。

一方、精神面では、落ち込みのみられる方や、認知症の進行がみられ家族がストレスを感じているケースもあるため、心のケア、1.5 次避難所への移動の検討、福祉担当部署への橋渡しをしていくことも必要となっている。傾聴する時間を設け、受診や移動に関する対応をしていく。

現在、要支援レベルの方はいるものの、医師の診察を頻回に必要とする者はなく、今後、医療班の巡回も頻度も減る予定である。道路は一応開通し 1 月 16 日に孤立は解消されたが、今後積雪や降雨により通行止めになることも予想されるため、緊急時の移送方法等の体制を確認しておく必要がある。

支援者の移動は、自己完結となる（避難所支援自治体の千葉県担当者は金沢駅からレンタカーにて移動）。当派遣チームは、本日は自衛隊車両先導にて自家用車で移動したが、悪路の移動が懸念されるため、後続隊の移動方法について検討が必要と思われる。

7. 参考写真



珠洲市保健医療福祉調整本部ミーティング (Zoom 参加)



薬剤師チームの巡回と薬剤の説明